

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 武富 順二

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日

平成25年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	95,797	8.3	6,075	28.9	6,385	42.6	4,216	75.2
25年3月期第2四半期	88,461	3.5	4,714	8.7	4,478	11.4	2,406	22.0

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 7,743百万円 (230.5%) 25年3月期第2四半期 2,342百万円 (15.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	40.82	—
25年3月期第2四半期	23.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	229,375	143,710	60.6
25年3月期	222,604	137,227	59.8

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 138,984百万円 25年3月期 133,080百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
26年3月期	—	11.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	8.2	12,500	26.8	12,800	13.0	8,600	12.9	83.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	103,651,442 株	25年3月期	103,651,442 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	363,629 株	25年3月期	363,303 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	103,287,865 株	25年3月期2Q	103,288,438 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から同年9月30日）における世界経済は、米国では緩やかな回復傾向で推移し、欧州の景気下げ止まりが見られたものの、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、総じて力強さに欠ける動きとなりました。国内では経済対策の効果や消費者マインドが底堅く推移するなど、明るさを取り戻しつつあるものの、世界経済の先行き不透明感などにより、引き続き厳しい状況が続きました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野は、欧州市場の低調を北米、アセアン地域が補って好調に推移し、国内は前年を若干下回るも堅調に推移しました。IT・デジタル家電分野は、スマートフォンやタブレット端末の販売が好調であったことから、堅調に推移しました。製パン・製菓関連分野の国内需要はほぼ横ばいで推移しました。

このような状況のなか、当社グループはブラジル現地法人及び台湾現地法人台北事務所の業務開始、中国でのプラスチック用酸化防止剤の増設など、海外展開の拡充を強化してまいりました。

本年度は、平成28年度売上高3,000億円達成を目指す上でも重要な年と位置付けており、中期経営計画「STEP 3000」の施策を推し進め、売上高2,000億円達成を目標に挑戦してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は957億97百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は60億75百万円（同28.9%増）、経常利益は63億85百万円（同42.6%増）、四半期純利益は42億16百万円（同75.2%増）となりました。

報告セグメント別の概況は次の通りです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、670億27百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は47億31百万円（同23.9%増）となりました。

①情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンやタブレット端末の需要拡大に伴い、最先端の半導体メモリに使われる高誘電材料などの販売数量は高い水準で推移しましたが、価格競争により販売価格が低下しました。プリント基板用のエッチング薬剤は、国内需要の減少と価格競争の影響を受けて、低調に推移しました。光学フィルムやフォトレジストに使用される感光性材料は、競争力の高い独自製品が伸長しました。

情報・電子化学品全体では、前期に比べ減収減益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、北米やアセアン地域などでの自動車生産の拡大に伴い、造核剤や光安定剤など高機能添加剤を中心に伸長しました。界面活性剤は、国内外において化粧品材料と塗料用添加剤が伸長しました。潤滑油添加剤は、自動車の省燃費に対する消費者の意識の高まりと、海外における新規顧客の獲得などにより、高い水準で推移しました。機能性樹脂は、水系ウレタンが好調でしたが、国内需要の低迷により総じて低調に推移しました。

機能化学品全体では、前期に比べ増収増益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類などは、国内需要が減少し低い水準で推移しました。過酸化水素及びその誘導品は、紙パルプをはじめとする国内市場の低迷により販売数量が低調に推移しました。

原材料及び燃料価格上昇を製品価格に反映できず、基礎化学品全体では、前期に比べ減収となり、営業損失となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、266億74百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は10億90百万円（同83.6%増）となりました。

円安による原材料価格の上昇などにより厳しい状況でしたが、依然としてアロマーデシリーズ（バター風味豊かなマーガリン）やみずみずしくて口溶けの良いホイップクリームなどの高機能製品の増販が寄与しました。

加えて、継続的なコスト削減への取り組みを実施し、食品事業全体では、前期に比べ増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ67億71百万円増加（前期比3.0%増）し、2,293億75百万円となりました。有価証券の減少を上回る現金及び預金、投資有価証券の増加が主な要因であります。

負債につきましては、前期末に比べ2億88百万円増加（同0.3%増）し、856億65百万円となりました。短期借入金及び長期借入金の増加が主な要因であります。

純資産につきましては、前期末に比べ64億82百万円増加（同4.7%増）し、1,437億10百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,311	33,207
受取手形及び売掛金	39,839	39,404
有価証券	7,230	3,232
商品及び製品	17,095	18,394
仕掛品	4,282	4,748
原材料及び貯蔵品	13,473	13,658
その他	6,367	6,126
貸倒引当金	△307	△325
流動資産合計	116,293	118,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,677	21,939
機械装置及び運搬具（純額）	22,761	23,049
土地	20,800	21,182
その他（純額）	7,744	7,980
有形固定資産合計	71,983	74,151
無形固定資産		
のれん	245	253
その他	3,226	3,331
無形固定資産合計	3,471	3,585
投資その他の資産		
投資有価証券	24,429	26,664
その他	6,427	6,527
投資その他の資産合計	30,856	33,192
固定資産合計	106,311	110,929
資産合計	222,604	229,375

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,535	29,297
短期借入金	13,476	15,558
未払法人税等	1,700	1,610
賞与引当金	1,948	2,023
その他の引当金	48	23
その他	5,389	5,833
流動負債合計	55,099	54,347
固定負債		
長期借入金	13,377	14,134
退職給付引当金	9,400	9,659
その他の引当金	106	110
その他	7,392	7,412
固定負債合計	30,277	31,317
負債合計	85,376	85,665
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	85,660	88,640
自己株式	△224	△225
株主資本合計	128,260	131,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	3,046
土地再評価差額金	3,697	3,794
為替換算調整勘定	△746	902
その他の包括利益累計額合計	4,819	7,743
少数株主持分	4,147	4,725
純資産合計	137,227	143,710
負債純資産合計	222,604	229,375

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)
売上高	88,461	95,797
売上原価	69,927	74,989
売上総利益	18,534	20,808
販売費及び一般管理費	13,819	14,732
営業利益	4,714	6,075
営業外収益		
受取利息	52	68
受取配当金	140	144
持分法による投資利益	—	92
為替差益	—	366
その他	143	145
営業外収益合計	336	819
営業外費用		
支払利息	189	214
為替差損	164	—
持分法による投資損失	74	—
その他	144	294
営業外費用合計	572	509
経常利益	4,478	6,385
特別損失		
有形固定資産除却損	179	46
投資有価証券評価損	531	221
特別損失合計	710	267
税金等調整前四半期純利益	3,768	6,117
法人税、住民税及び事業税	1,263	1,856
法人税等調整額	△32	△207
法人税等合計	1,230	1,649
少数株主損益調整前四半期純利益	2,537	4,468
少数株主利益	130	252
四半期純利益	2,406	4,216

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,537	4,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△484	1,122
為替換算調整勘定	310	2,095
持分法適用会社に対する持分相当額	△20	56
その他の包括利益合計	△194	3,274
四半期包括利益	2,342	7,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,157	7,043
少数株主に係る四半期包括利益	185	700

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,768	6,117
減価償却費	4,079	4,489
投資有価証券評価損益 (△は益)	531	221
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	250	255
有形固定資産除却損	179	46
受取利息及び受取配当金	△193	△213
支払利息	189	214
為替差損益 (△は益)	95	△294
持分法による投資損益 (△は益)	74	△92
売上債権の増減額 (△は増加)	525	1,854
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,141	△810
仕入債務の増減額 (△は減少)	123	△4,407
その他	△410	483
小計	8,072	7,863
利息及び配当金の受取額	309	330
利息の支払額	△196	△224
法人税等の支払額	△1,612	△1,930
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,572	6,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	10,500	5,600
有価証券の取得による支出	△11,500	△1,600
有形固定資産の取得による支出	△5,068	△4,743
無形固定資産の取得による支出	△311	△545
投資有価証券の取得による支出	△10	△253
長期貸付けによる支出	△71	△344
関係会社株式の取得による支出	—	△416
事業譲受による支出	△1,118	—
その他	384	153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,196	△2,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	861	1,295
長期借入れによる収入	7,283	786
長期借入金の返済による支出	△5,130	△229
配当金の支払額	△1,139	△1,138
その他	39	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,914	399
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	831
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,345	5,121
現金及び現金同等物の期首残高	25,755	29,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,100	34,332

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	60,208	25,706	85,914	2,546	88,461	—	88,461
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	395	59	454	5,389	5,844	△5,844	—
計	60,604	25,765	86,369	7,936	94,306	△5,844	88,461
セグメント利益	3,818	594	4,412	277	4,690	24	4,714

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額24百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	67,027	26,674	93,701	2,095	95,797	—	95,797
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	499	70	569	5,096	5,666	△5,666	—
計	67,527	26,744	94,271	7,192	101,464	△5,666	95,797
セグメント利益	4,731	1,090	5,821	226	6,047	27	6,075

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事及び工事管理、物流業、不動産業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額27百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。